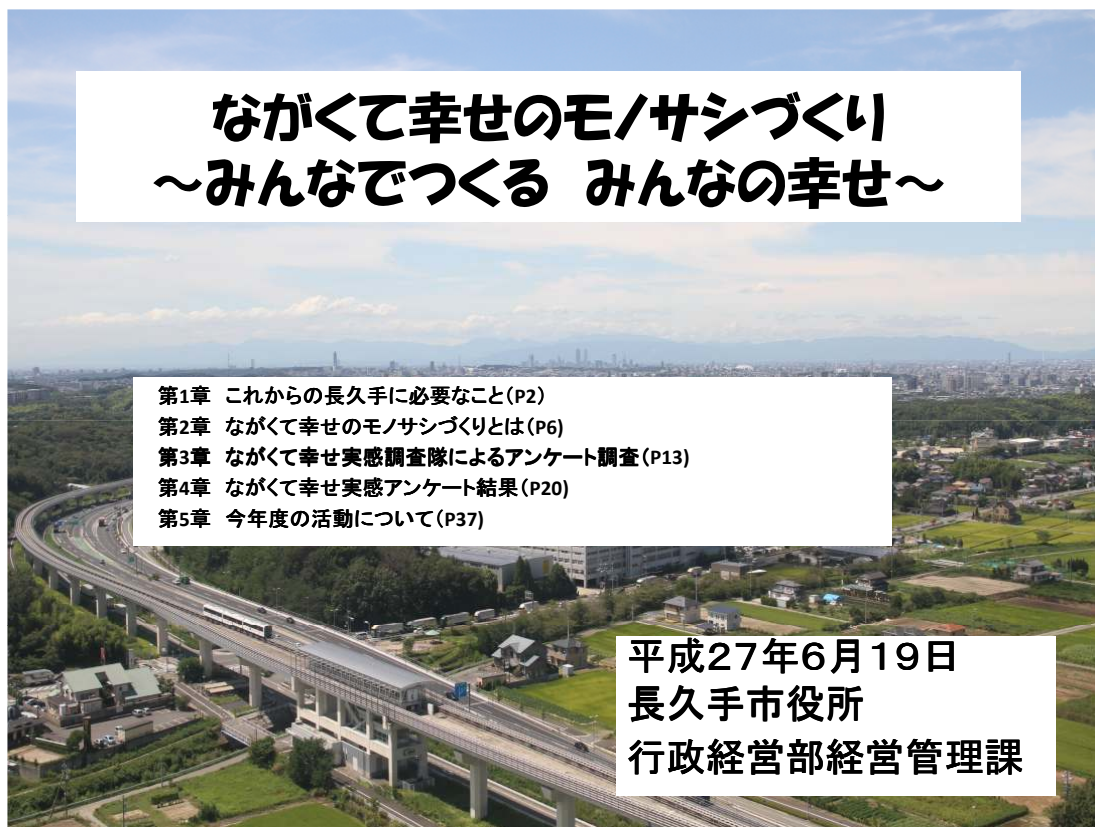




ながくて幸せのモノサシづくり ～みんなで作る みんなの幸せ～

- 第1章 これからの長久手に必要なこと(P2)
- 第2章 ながくて幸せのモノサシづくりとは(P6)
- 第3章 ながくて幸せ実感調査隊によるアンケート調査(P13)
- 第4章 ながくて幸せ実感アンケート結果(P20)
- 第5章 今年度の活動について(P37)

平成27年6月19日
長久手市役所
行政経営部経営管理課

第1章 これからの長久手に必要なこと

現在の長久手市

- ・人口増加 (H27年5月現在54,968人前年同月53,562人)
- ・県下も最も低い高齢化率 (15.2%)
- ・学生も多く、若いまち (平均年齢38.9歳)
→平成22年国勢調査の平均年齢の若さは全国1位
- ・東洋経済「住みよさランキング」全国4位
- ・健全財政



恵まれた生活環境、今の状態が続けば
何の問題もないようだが...

2015/6/19

3

2015/6/19

これからの時代と社会発展システムの転換

- ・人口減少時代と少子高齢社会
→2050年:人口64,000人、しかし子どもは減少、高齢者は3倍に!
→いわゆる「騎馬戦型」から「おんぶ型」の時代に!
- ・公助 > 自助、共助 → 公助 < 自助、共助 が重要に!

経済成長に依存してきた右肩上がりを追求する時代の限界

- ・収入増加、しかし生活満足度は低下
- ・幸福や生活の質を重視する社会発展システムが国際的に主流
→国連、OECD、ブータン、フランス、カナダ、米国、日本など



2015/6/19

質の高い生活や地域の豊かさを
「みんなで」追求するシステムへの転換

4

一人ひとりの幸せ感が高い 「日本一の福祉のまち」

自治体の役割 住民の「福祉＝幸福」の増進
→日本一の福祉のまち＝日本一幸せ感が高いまち



3つのフラッグ（基本理念）

つながり 「一人ひとりに居場所と役割があるまち」

あんしん 「助けがなかったら生きていけない人は全力で守る」

みどり 「ふるさと（生命ある空間）の風景を子どもたちに」



新しいまちのかたちづくり

その一つが、みんなで「まちや地域の幸せ」に向き合う仕組みづくり

2015/6/19

第2章

ながくて幸せのモ/サシとは

2015/6/19

ここでまず整理・・・

★「幸せのモノサシ」とは・・・

長久手のまちが、着実に、みんなが健康、生き生き、幸せに生活するまちに向かっているかどうかを確かめていくための「道具」であり尺度



★でも「道具」を作ることが目的ではなく・・・

「ながくて幸せのモノサシ」を使って「まちや地域の幸せ」を具体的に示し、みんなが健康、生き生き、幸せに生活するまちの実現に向け、住民が自ら動き出し始める新しい仕組みにつなげることが大切

2015/6/19

7

2015/6/19

日本一幸せ感が高い福祉のまちを目指して

ながくて幸せのモノサシを活かした仕組みづくりとは・・・

市民と行政が協働する新しいまちづくりの仕組み

・モノサシを活用した新しい仕組みづくりに必要なこと

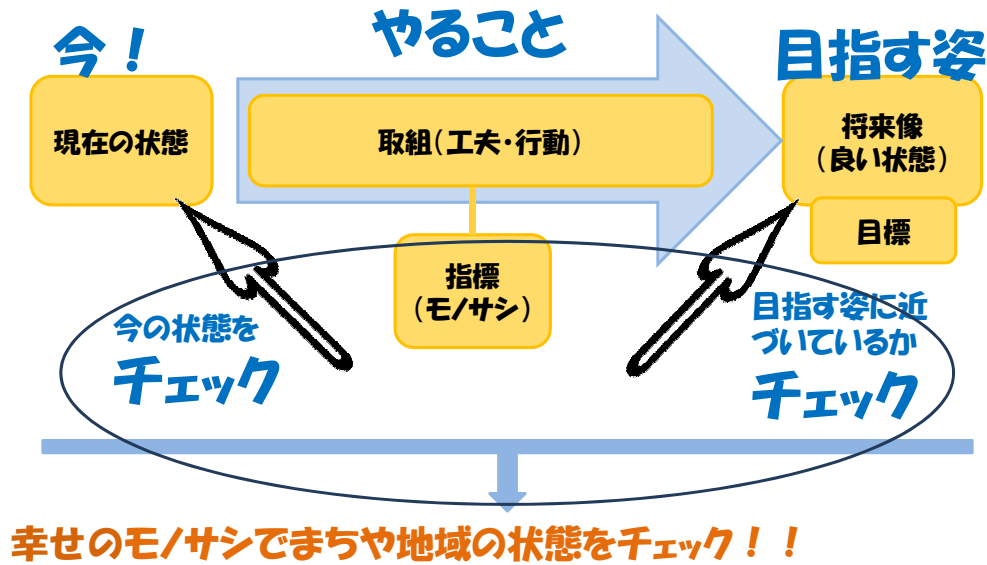
- 1 地域独自の **よりよい将来像**を持つ
- 2 地域のことや暮らしを **よく知り、把握する**
- 3 地域の暮らしとビジョンに結びつく指標を見つける
- 4 地域の暮らしの **質を高める工夫を考え行動**する

幸せの
モノサシ

2015/6/19

8

ながくて幸せのモノサシのイメージ

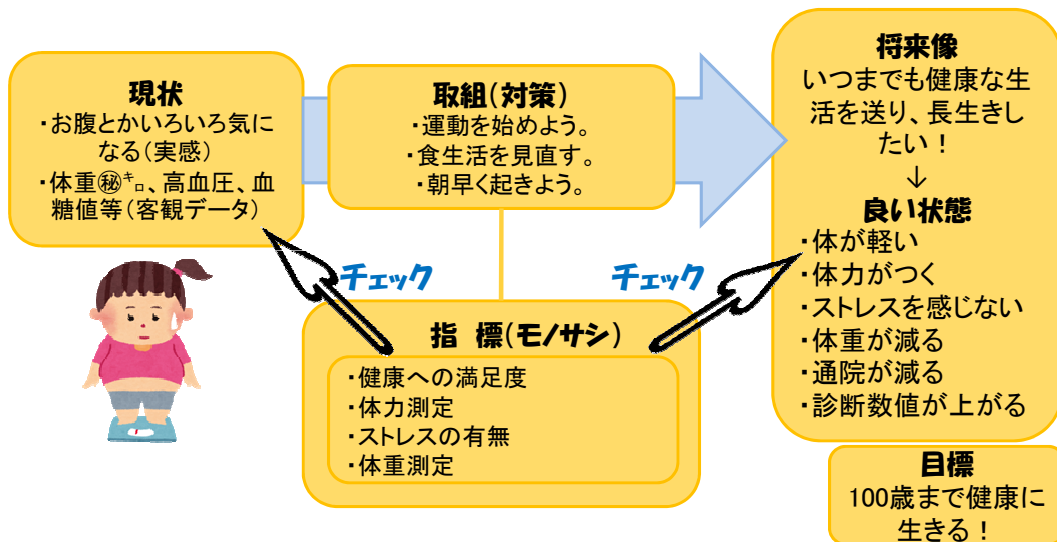


2015/6/19

9

2015/6/19

身近な例：みなさんの「健康」に例えるなら・・・

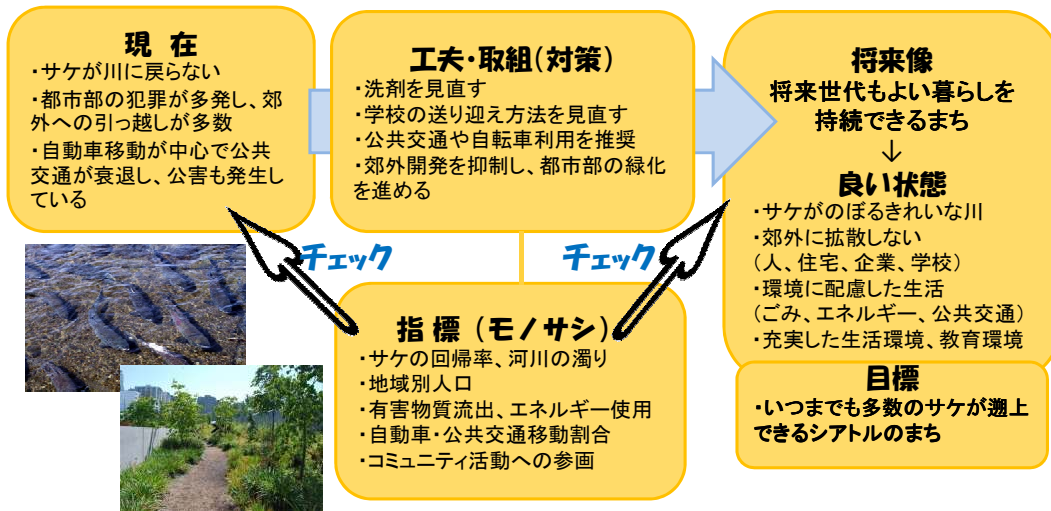


モノサシで健康改善状態をチェック!!

2015/6/19

10

まちや地域の例：米国シアトルを参考にすると・・・



モノサシでまちの状態をチェック！！

2015/6/19

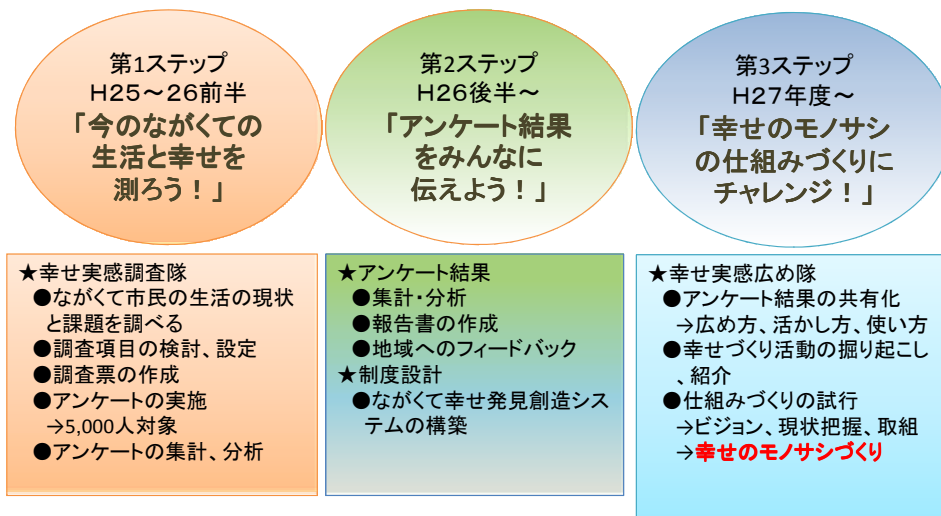
*シアトルのコミュニティ指標をもとに
長久手市が独自に作成したもの

11

2015/6/19

ながくて幸せのモノサシづくりの進め方

「市民と職員」がともに考えながら進めます！



2015/6/19

12

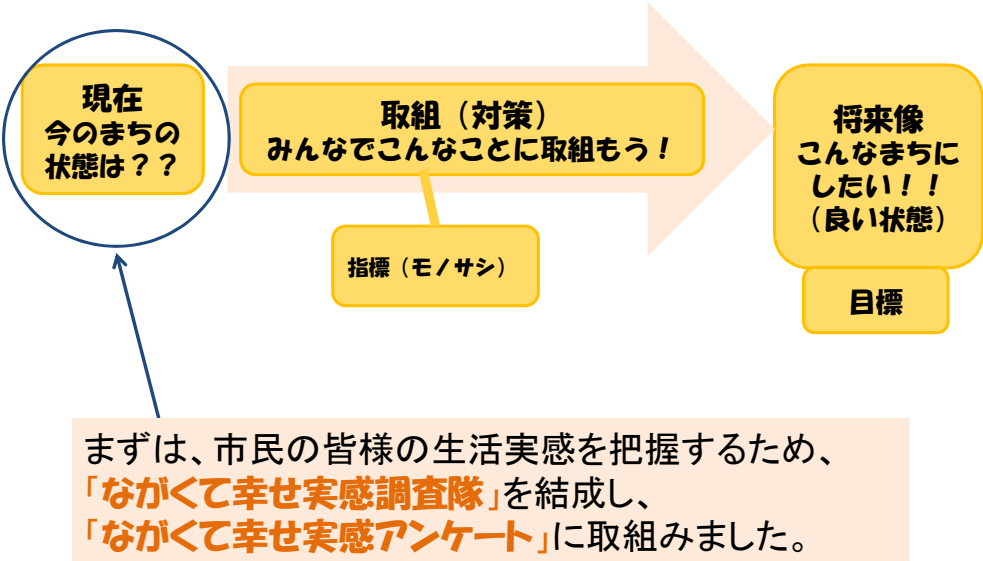
第3章

ながくて幸せ実感調査隊による アンケート調査

2015/6/19

2015/6/19

ながくて幸せのモノサシづくりに向けた取組 第1ステップ「今のながくての生活と幸せを測ろう！」



2015/6/19

第1ステップ「今のながくての生活と幸せを測ろう！」 ～長久手方式の市民行政協働によるアンケート調査～

ながくて幸せ実感調査隊の結成！



市民11人と若手職員10人

特徴

調査隊の意見と合意を前提にアンケート票を完成



調査隊の活動自体が「新しいまちの形づくり」の一環！

2015/6/19

15

2015/6/19

ながくて幸せ実感調査隊では・・・
～まさに、みんなで白熱教室！？～

調査票の作成から
結果の分析まで、みんな
で取組ました！！

調査票の作成

こんな質問をしてみてもいい？

生活実感と比較してみよう。

こんな取組を始めたらかどうか

地域の実感と比べてみよう。

結果の分析

2015/6/19

16

調査隊活動の経過

回	年月日	内容
第1回	H25.10.28	WS「将来の望ましい長久手の姿を考えよう！」
市民まつり	H25.11.10	市民インタビュー「ながくて市民の幸せ集め」
第2回	H25.11.25	WS「幸せ実感アンケートづくりに入ろう！」
第3回	H25.12.9	WS「今日もアンケートをつくろう！」
第4回	H25.12.20	討議「質問項目を選ぼう！」
第5回	H26.1.29	討議「みんなでアンケート票を直そう！」
第6回	H26.2.6	討議「今日もみんなでアンケート票を直そう！」
第7回	H26.2.12	発表「完成したアンケート票を発表して市長に渡そう！」
第8回	H26.5.9	WS「集計結果から見えてくること、分析したいことを考えよう！」
第9回	H26.7.4	討議「幸せ実感調査隊の活動を振り返ろう！」
第10回	H26.8.22	WS「アンケートの活用方法を考えよう！」

約10か月にも及ぶ活動をまとめ、平成26年12月に報告書を作成しました。
(市のホームページをご覧ください)

ながくて幸せ実感アンケート



ながくて幸せ実感調査隊メンバー

**ながくて幸せ実感アンケート
報告書**

～みんなでつくろう 幸せのモノサシ～

平成26年12月
長久手市

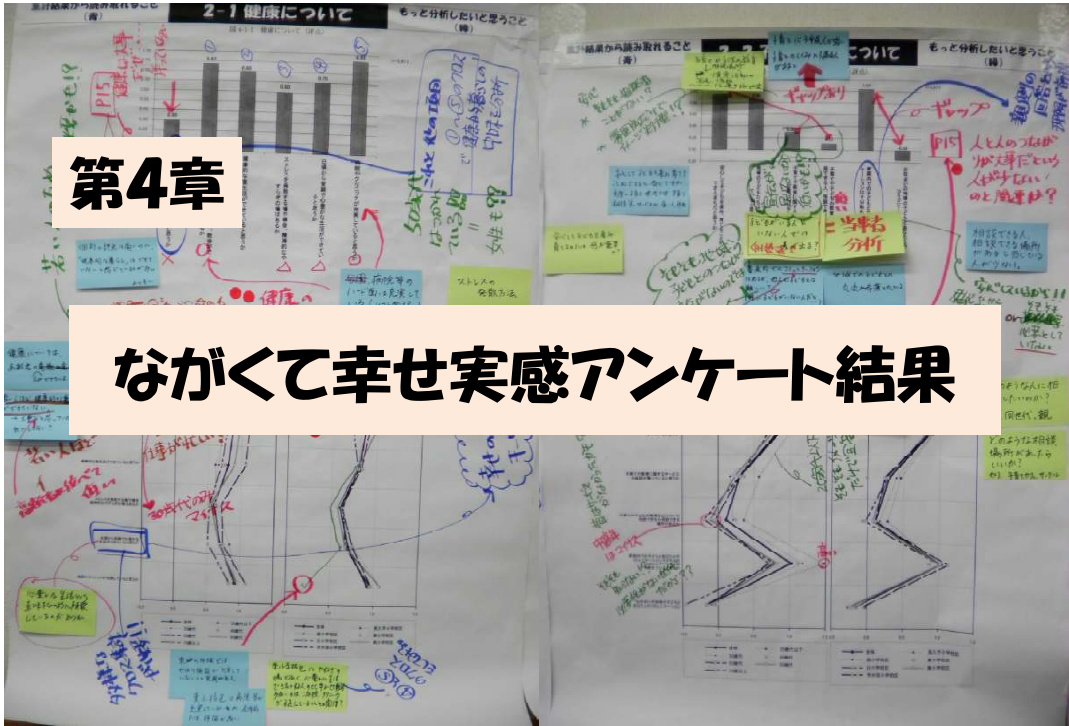
- 幸せ感やまちの住みよさ、生活実感などを調査。
- 18歳以上の市民5,000人を対象に実施。
- 有効回答数1,871人（有効回答率37.4%）
- 年齢別、小学校区別ごとに回答を比較。

ながくて幸せ実感アンケートの調査項目

分野	主な調査項目
幸せ感	幸せ感、生活満足度(家計、健康、家族、仕事、つながり など)
住み心地	住みよさ、愛着、定住
健康	健康的な暮らし、運動、食生活、笑顔
子育て・教育	子育て環境、子どもの成長、子どもとのコミュニケーション
環境	自然環境、景観、ごみ・資源分別
つながり	地域活動、あいさつ・近所づきあい、地域の居場所・役割
防災・防犯	地域防災活動、防災対策、治安
福祉	助け合い、福祉サービス、介護不安
文化・生涯学習	伝統・芸術文化、生涯学習、自慢したい地域の宝
生活インフラ	買い物・通院、移動利便就業環境

2015/6/19

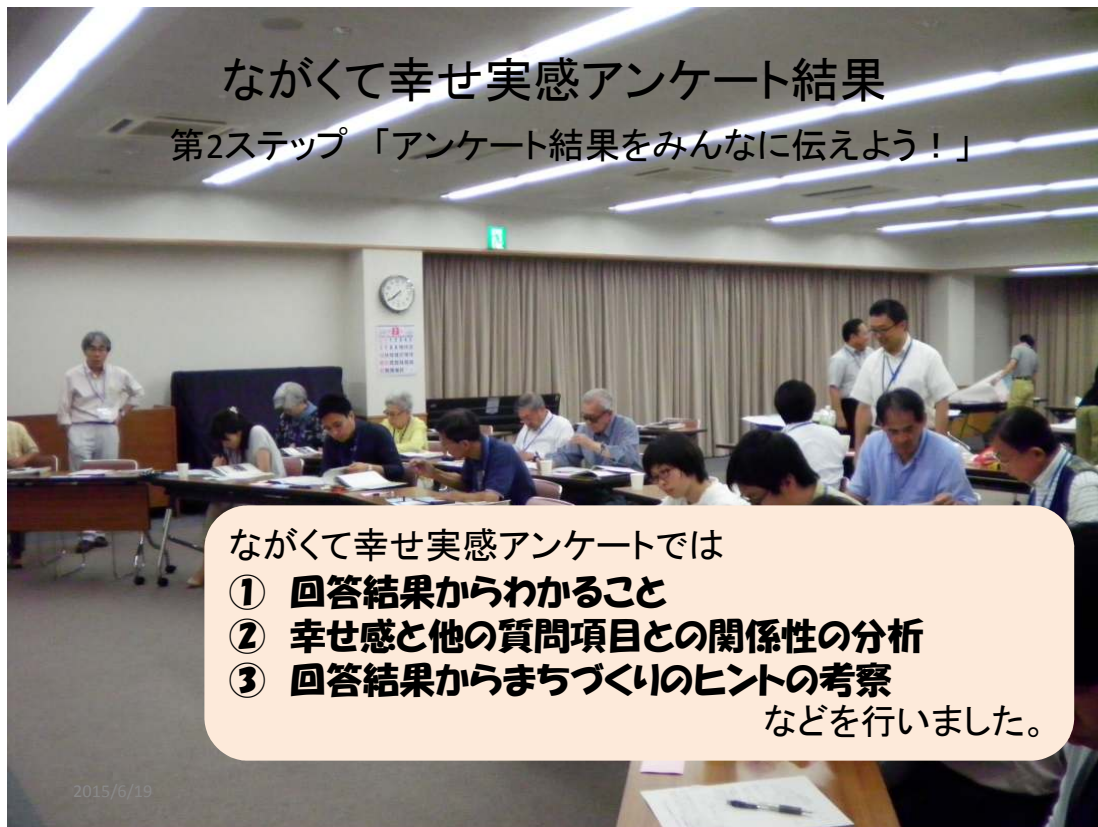
2015/6/19



2015/6/19

ながくて幸せ実感アンケート結果

第2ステップ「アンケート結果をみんなに伝えよう！」



ながくて幸せ実感アンケートでは

- ① 回答結果からわかること
- ② 幸せ感と他の質問項目との関係性の分析
- ③ 回答結果からまちづくりのヒントの考察

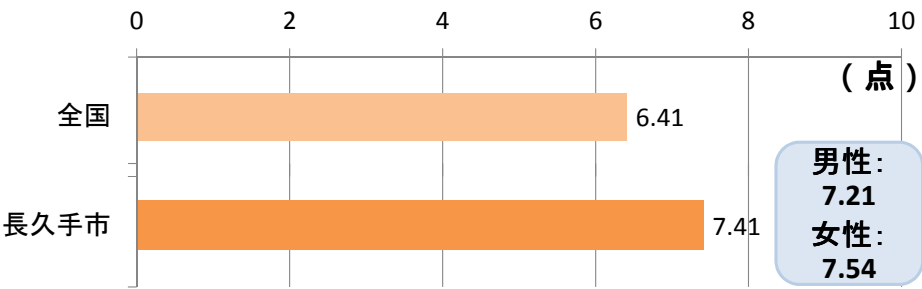
などを行いました。

2015/6/19

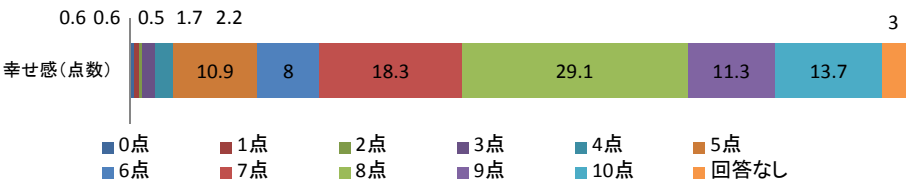
ながくて の 幸せ感



長久手の幸せ感



※全国値は日本政府が実施した「平成23年度国民生活選好度調査」による。



2015/6/19

長久手の幸せ感の特徴①

20歳代未満 > 50歳代～70歳代以上
特に30歳代が7.79と高く、50歳代が7.13と低い。

子育て世代の幸せ感が高い
乳児、幼児、小中学生の順

年収が多いほど幸せ感も高い
500万円以上あれば差は小さい

家族と一緒に > 単身者
単身者の幸せ感は低い。

居住年数が長くなるにつれ幸せ感が低くなる

配偶者いる > 未婚者

幸せ感の点数を選んだ理由は、「健康」、「家族」、「住環境・生活インフラ、行政サービス」の順に多い

2015/6/19

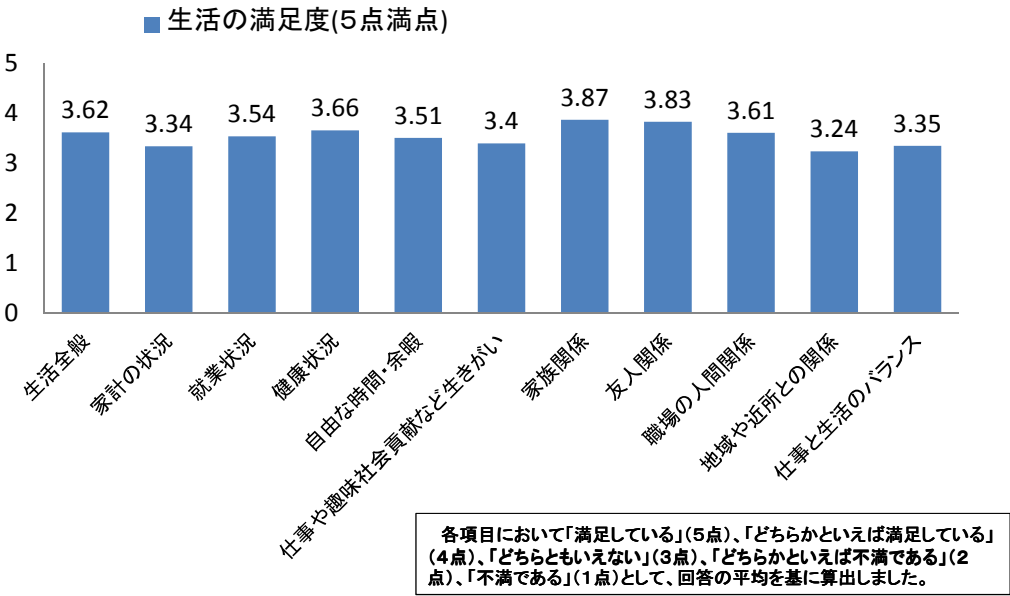
長久手の幸せ感の特徴②

- 「日頃から笑顔で豊かな生活」をしている人と幸せ感の関係している。
- 健康、年収、家族の存在などが大きく影響。特に30歳代の幸せ感が高く、子どもの存在が大きいと思われる。
- 地域活動をしている人の幸せ感が高く、関係があると思われます。
- 「幸せ感や住み心地」と「防災防犯や福祉」の分野に関連性がみられない。



2015/6/19

生活への満足度



2015/6/19

調査結果から見てきたこと 年齢別の特徴

【18歳～39歳】

- ・健康面の実践が少ない
- ・家庭のコミュニケーションが多い
- ・環境配慮の意識が低い
- ・近所づきあいができていない
- ・地域活動への参加が少ない
- ・避難所などの認知度が低い
- ・インターネット等の利用割合が高い

【60歳以上】

- ・健康面の実践が多い
- ・地域活動への参加が他の年代より多い
- ・避難所などの認知度が高い
- ・福祉に対する関心が高い
- ・伝統文化や歴史の興味が高い
- ・インターネット等の利用割合が低い

【40歳～59歳】

- ・他の年代と比べて全体的に評点が低い(特に50歳代)
- ・家庭や地域でのコミュニケーションが少ない(特に50歳代)
- ・現在、将来の介護(自分、家族)への不安が高い

2015/6/19

27

2015/6/19

調査結果から見てきたこと 長久手の西部と東部の特徴

【西部】

- ・公園などが豊富
(市・南)
- ・安心安全の取組が活発
(北)
- ・買い物等が便利
(南・西)

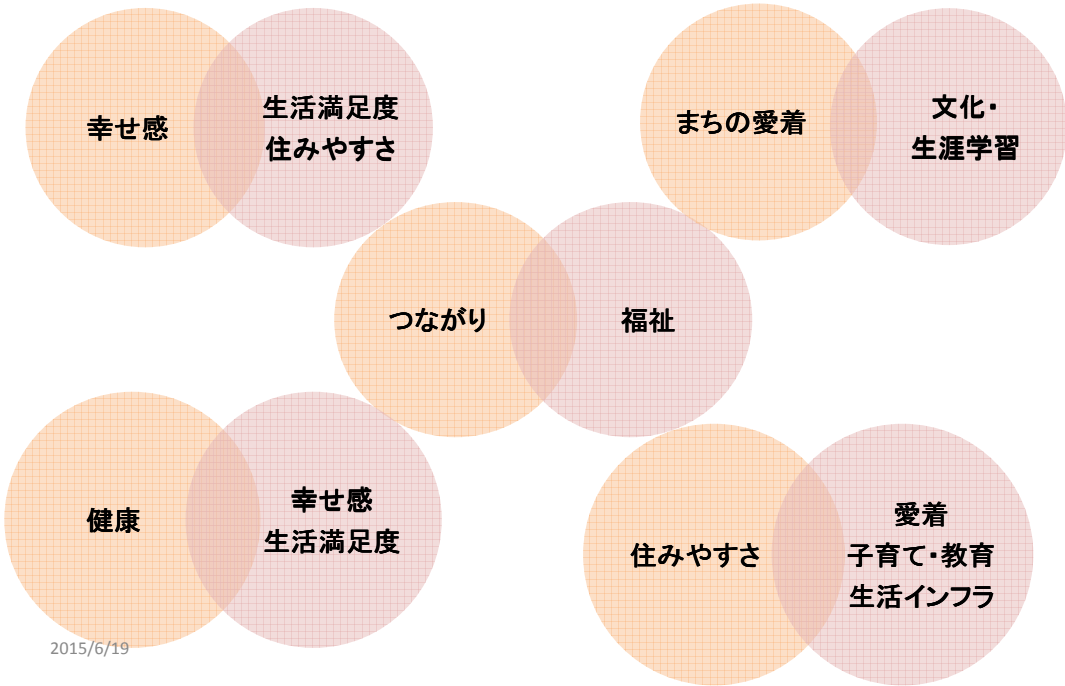
【東部】

- ・豊かな自然環境
- ・地域活動への参加
- ・施設(病院や子育て施設等)や生活インフラの不足感

2015/6/19

28

調査結果から見てきたこと
幸せ、愛着、つながりの関わり



2015/6/19

調査結果から見てきたこと
健康・環境

- ・「運動する機会」(3.87)や「健康的な食生活」(3.80)が出来ている。
- ・環境分野に関する評点が高い。
- ・生活インフラ分野に関する評点も高い。
- ・施設の充実。
- ・「安全安心を守る取組をしている」評点が高い。(3.68)



健康・環境など生活環境は充実

2015/6/19

調査結果から見てきたこと 地域のつながり

- ・地域の子どもとのコミュニケーションの評点 2.84点！
- ・地域活動への行事に参加の評点 2.06点！
- ・頼りになる友人は市内(3.14)よりも市外(3.97)が多い！
- ・「たつせがある」の評点が低い！(2.62)



地域のつながりがやや心配・・・

2015/6/19

31

2015/6/19

調査結果から見てきたこと 地域の支え

- ・「地域行事への参加」の評点が低い。(2.32)
- ・「防災訓練等への参加」の評点が低い。(2.28)
- ・「社会のために役立ちたいと思っているか」の評点が低い。(2.90)
- ・「コミュニティへの参加意識」の評点が低い。(2.89)



将来は誰が地域を支えてくれるのか・・・

2015/6/19

32

調査結果から見てきたこと 市民の助け合い

- ・「日常的にあいさつをしているか」の評点が高い。(3.96)
- ・「高齢者などを手助けすることは出来る」の評点 3.77点
- ・「コミュニティが課題解決を進めていく事が重要になると思うか」の評点 4.02点



思いはある！始めの一步を踏み出そう！

2015/6/19

33

2015/6/19

何に取り組むか？調査隊の視点

・「環境」を大切に思っている。
・学生、若者、ボランティア
↓
**環境ビジョンのワークショップ
開催**

・挨拶する人の割合が高い。
・知り合いでない人と関係が希薄
↓
あいさつリーダーを育てよう！

**調査結果から見えた
「長所や課題」と「現状」
を組合せ、まちづくりの
取組アイデアをみんなで
考えてみました。
(第10回ワークショップ)**

調査結果から見えた「長所・現状」と「課題・現状」
の両面からまちづくりの取組アイデアを創出
↓
長所・現状を伸ばして課題・現状を克服するための取組アイデア

・単身世帯の幸せ感が低い。
・学生が多い
↓
**【学生塾】学生が子どもに勉強
を教える場の創出**

34

**調査結果、みなさんの生活実感と
比べてみるといかがですか？**

**また、私たちは何に取り組んでいけば
よいのでしょうか？**

2015/6/19

35

2015/6/19

幸せのモノサシづくりアドバイザーたかさんより

- ・ 長久手の幸せ実感調査は、生活当事者である市民、そして、その生活を支援するパートナーである市役所の職員によって企画されました。**その利用は生活の当事者である住民自身になります。**
- ・ 幸せ実感調査は、市民の目線で長久手市の総合的な住みやすさや市民の幸せ実感を確かめるものであって、住みやすいまち、**幸せ度の高いまち長久手を実現するために活用していくもの**です。



2015/6/19

36

第5章

今年度の活動について

2015/6/19

37

2015/6/19

ながくて幸せ実感調査隊から
～幸せ実感広め隊へ～



①まちづくりの方向性をチェックするため、
長久手市の生活状況を把握しました。



②長久手の幸せ感を高めるために、共感できる
取組、大切な活動を見つけ出し、紹介
しよう。

2015/6/19

38

・ながくて幸せ実感広め隊結成！

★こんなことを試していきたいと考えています！

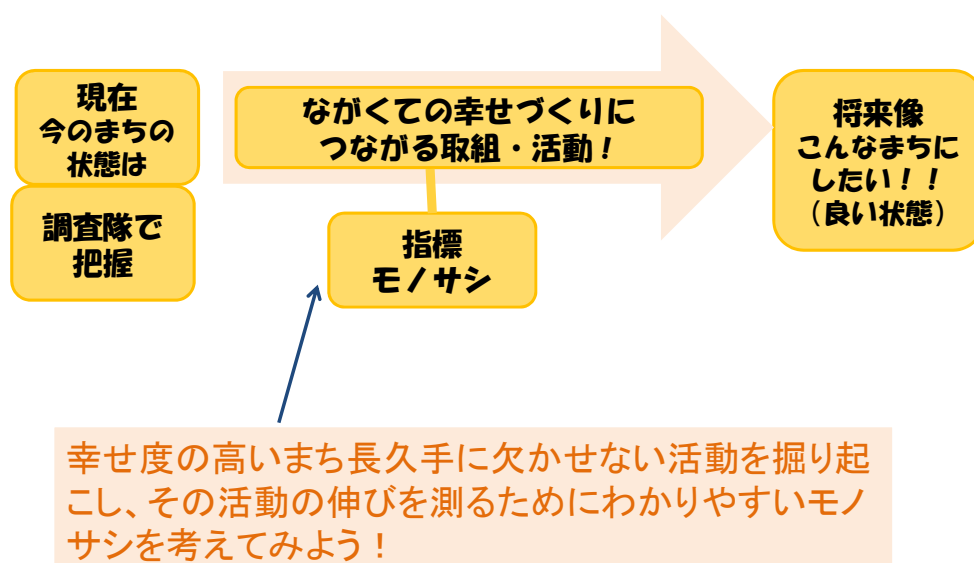
- ながくての幸せづくりにつながる活動に取り組む市民やグループの掘り起こし
- 具体的に共感できる活動内容の紹介
- その活動の伸びを測るわかりやすいモノ／サシを考えてみる
- 「幸せ実感UP最前線！」広報コラム化
- 「幸せ実感フォーラム」実践活動の報告
- 「幸せ実感トークセッション」がんばっている人たちのトークショー

2015/6/19

39

2015/6/19

ながくて幸せのモノサシづくりに向けた取組 「幸せ実感広め隊」



2015/6/19

40

直感でアイデアを出し合おう！
～掘り起こしや紹介の方法を考えよう～

例えば・・・掘り起こしで

- ・こんな幸せに関する活動をしている人がいる！
- ・この人がいるから幸せを感じる！
- ・このグループ活動は面白い！ など

そして、紹介するには

- ・やっぱりインタビュー！
- ・かわら版をつくっちゃおう！
- ・フォーラムで発表してもらおう！ など

…などなど、面白い！楽しい！そんなアイデアどんどん出してみましょう！

2015/6/19

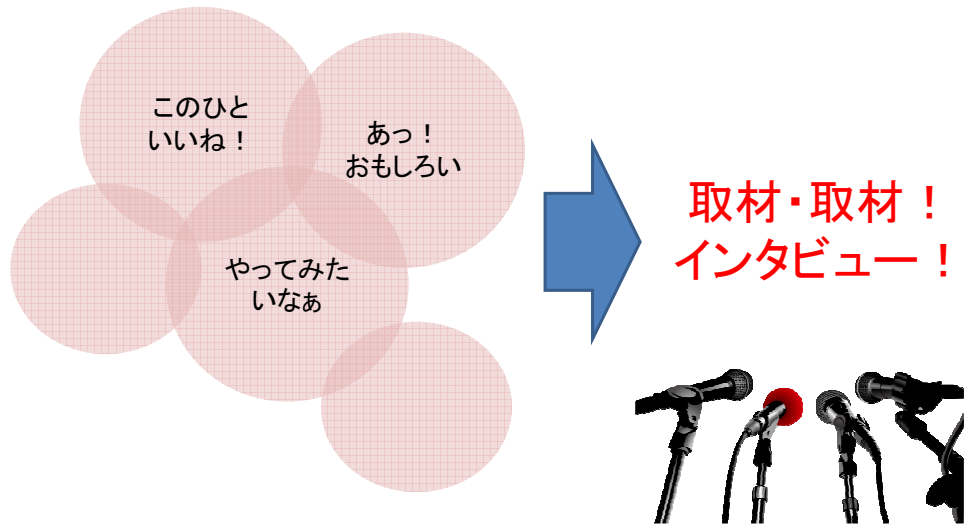
みんなで活動内容を考えよう！

幸せ実感が高まるような取組って
どんな人たちが対象かなあ？
どうやって探そう？
何を広めようか？



2015/6/19

アイデアを膨らませて



2015/6/19

幸せ実感UP最前線！（イメージ）

**アンケート結果
健康について**

・健康的な暮らしができていると思うか(3.30)

・ストレスを発散する場や機会はあるか(3.60)

グループ名 幸せ1号

・こんな活動しています
～
～
～

・あんなこともしています
～
～
～

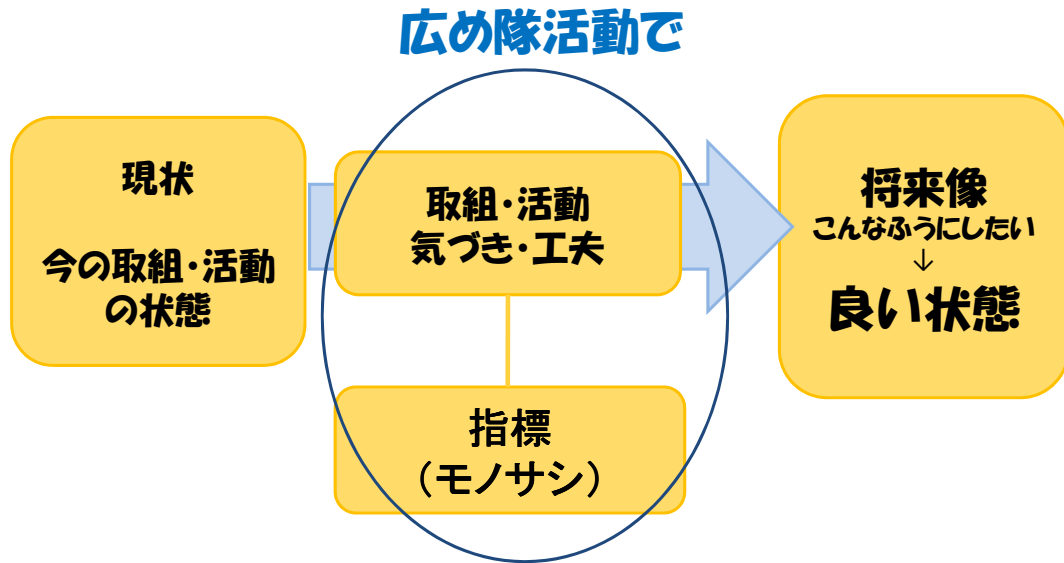
・いっしょにやりませんか

写真

A photograph showing a group of people, mostly wearing hats and casual clothing, gathered under a large white tent. They appear to be participating in an outdoor event or festival. The background shows some trees and a building.

健康	運動など健康的な暮らしができているか	3.30	1
	気軽に運動をする場所や機会等があるか	3.87	1
	健康的な食生活ができているか	3.80	1
	ストレスを発散する場や機会・場はあるか	3.60	1
	日頃から笑顔で心豊かな生活ができているか	3.70	1
	病院やクリニックが充実しているか	3.90	1

2015/6/19



紹介した取組・活動に共感するひとが増えて、
ながくて全体の幸せ実感が高まるといいなあ

2015/6/19

自己紹介カードに記入してください

2 長久手がこんな幸せいっぱいのまちになったらいいなあ
(どんな幸せが実感できるまちになったらよい?)

1-1 所属 (あるいは、住んでいるところ、働いているところでも良いです。)

1-2 お名前 (ニックネーム)

()

3 幸せ実感広め隊では、こんなことをしたい！
(参加した動機や活動アイデアの提案)

2015/6/19

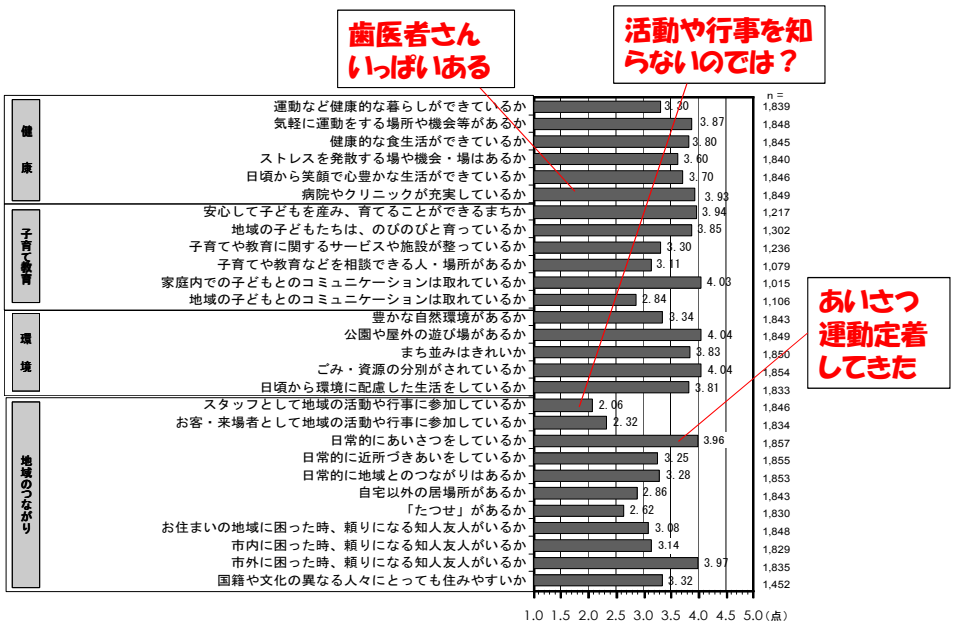
ワークショップ

「アンケート結果から読み取れること」
思うこと、感じたことなど書き出してみよう！

2015/6/19

2015/6/19

暮らしや住まいの地域（生活実感）について（評点一覧）



思ったことをたくさん書き出してみよう！

2015/6/19

**みんなの意見から
読み取れることは何だろう？
広げるものって・・・**

2015/6/19

49

2015/6/19

グループプレゼンテーション

- 順番は・・・

2015/6/19

50